

エシカル通信

March, 2024



人や社会、地球環境、地域に配慮した消費
毎日の暮らしの中でできること

おいらの
ブースだに!



2023年12月17日(日) @ エス・バード

飯田国際交流のタベ



飯田下伊那地域に暮らす外国籍の住民との交流を目的とする「飯田国際交流のタベ」が4年ぶりに開催されました。飯田市消費生活センターも「食品ロスクイズ」を行うブースを出展しました。



大勢の方にクイズに挑戦してもらいました。正解すると「森林保護活動団体への寄付金付きトイレットペーパー」と「フェアトレードチョコ」をプレゼント◎

Q1 賞味期限を過ぎた食品はすぐに捨てたほうがよい?

ヒント ○ or ×
賞味期限: おいしく食べられる期限
消費期限: 安全に食べられる期限

Q2 おみせで食べ物を買う時棚の手前から取ることを何という?

- 1 てまえみよ
- 2 てまえどり
- 3 てまえから

※こたえは下に↓

エシカッパの名前を当てるクイズも! 多くの方にエシカッパを知ってもらえました!



4年ぶりの開催とあって、会場は大勢のお客さんでにぎわいました。外国の方にも食品ロス削減を知ってもらうことができました。

エシカッパで彩られたかわい楽しいブースになりました。クイズの出題は「いいレポ☆」(飯田短大生)の皆さんにお手伝いいただきました!



2024年2月24日(土) @ エコハウス

エコカフェ講座

エシカル消費を楽しく学べる「エコカフェ講座」。

今回のテーマは【無農薬のシコクビエ粉でお菓子を作ろう!】さて、シコクビエ粉ってなんだろう…?

飯田女子高校1学年

エシカル宣言のパネル

を展示しています

飯田女子高校1学年の家庭科の授業で「消費生活」の講座を行いました。消費者トラブルへの注意点とともに「エシカル消費」のお話もさせていただき、その話を受けて生徒の皆さんに「エシカル宣言」をしてもらいました。



講師は量り売り「楽やす屋」を経営されている宮城めぐみさん。プラスチックごみ問題に関心を持ち、包装しない量り売りに特化したお店をオープンした経緯もお話いただきました。

シコクビエ粉とは、カリウム、タンパク質、ミネラルや食物繊維を豊富に含む「シコクビエ」をパウダー状にしたもの。お菓子やお料理に使えるスーパーフードです。今回は上伊那で作られた国産の貴重なシコクビエ粉で「黒レンズ豆のおしるこ」と「ガレット」を作りました。参加者の皆さんで協力して楽しくお料理しました♪



材料のシコクビエ粉、黒レンズ豆、甜菜糖、きびなどは、楽やす屋さんで扱っています。



初めて食べたけど美味しいね

美味しいおしるこがガレットが出来上がりました。おしるこのトッピングは「きび」。ガレットにはとろけるチーズをはさんで焼き、お好みではちみつをかけます。



ガレット

おしるこ



- *地域で作られたものを買ってお料理する
- *応援消費をしてみたい
- *必要なものを必要な分だけ買う
- *フェアトレード商品を優先的に買う...など

「エシカル宣言」をパネルにして展示しています。カラフルで楽しいパネルになっています。高校生の宣言をぜひ見ていただき、未来のために私たちにできることを考えてみてください。

展示期間: 4月19日(金)まで
場所: 飯田市役所C棟1階 市民サロン入口

みてな!



エシカルコラム【被災地を応援しよう】

地震、津波、台風、豪雨、大雪、噴火...、日本は自然災害の多い国です。大きな災害が発生するたびに「被災地の役に立ちたい。何か助けになることはないか。」と考える方も多いと思います。現地に赴いてのボランティアはハードルが高いし...、寄付はもちろんするけど他にできることはないかな...。そんな皆さんはぜひ【応援消費】をしてみませんか? 被災地の海産物や農産物、加工品などを購入すれば、被災地の収入につながり、被災地の皆さんにエールを送ることになります。今年1月1日に能登半島地震が発生しました。多くの方が被災し今も大変な生活を送っています。能登半島にはおいしい海産物や名物「いしる」(魚醤)、まろやかな塩、美しい「輪島塗」などたくさんのお名産品があります。ぜひ手に取ってみてください。また落ち着いたら観光に訪れてください。地元の飲食店や宿泊施設を利用することも応援消費になります。能登だけでなく、東日本大震災や熊本地震などの被災地も、引き続き消費で応援していきましょう!!



発行元 ● 飯田市消費生活センター (飯田市役所内)

☎ 0265-22-4530

こたえ Q1: × Q2: 3てまえどり